





# 謹賀新年

計根別農業協同組合

理事兼務金融共済部長	理事兼務参事	監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長	代表理事組合長	
職	佐	富	澤	須	後	安	太	漆	鹿	有	西	纈
員	藤	田	田	崎	藤	斉	田	原	野	原	塚	纈
	一	良	光		一	宏			一	国	秀	成
同	文	夫	紘	剛	男	一	誠	功	博	男	夫	喜



“ ゆっくり、そして確実に ”

代表理事組合長 額 額 成 喜

組合員の皆様、明けましておめでとございます。ご家族共々に輝かしい新年をお迎えの事と思えます。

昨年は、天災・人災の一年であり、大雪・台風・地震など自然の怒りが日本列島を完膚なきまでに痛めつけられました。国外では、イラク戦争の勃発、日本自衛隊の派遣と物騒な事態に心痛む日々が続いております。国内においても児童虐待が毎日のように伝えられ、弱者が犯罪に巻き込まれるという事件が相次ぎ、素漠としたやりきれない一年でありました。

一方、酪農の分野でも年初より脱粉の過剰在庫処理の問題、十一月一日より施行された家畜排泄物処理法に適應するために苦勞したところです。当農協の牛乳生産も大台の九万トン突破を目指しましたが、十一月より大きく失速し、達成は不可能と

なりました。これも年初の大雪、熱い夏の影響による一番サイレージの蛋白不足、搾乳農家九戸の減少等が原因と考えられ、早急な対策に頭を悩ます年末となりました。アテネオリンピックでの金メダルラッシュ、駒大苦小牧高校の全国制覇など明るい話題もありましたが、総じて昨年は暗い一年だったと思います。

さて、今年は酉年ですが昨年とは打って変わり、明るく穏やかな年となるように祈るばかりですが、恒例にならない農協史あしあと”を紐解き、十二年前・二十四年前を探りました。すると残念な事に十二年前の一月十五日は釧路沖地震、七月には北海道南西沖地震と、日本列島に大きな地震の幕明けの年”と記されておりました。また、二十四年前の昭和五十六年には低温異常気象となり五月に三度の降雪、三十日にも未曾有の降雪と

記されております。日照時間も平年の十二%とあり、記憶にある方も多いと思われれます。このように記されますと年頭より暗い話になりますが、日本という国で農業に携わる者にしてみれば、毎年の自然・気象と戦いながら付き合っているわけで、一喜一憂の繰り返しです。個々で出来る限りの備えをして、地域・農協が助け合いながら乗り越えて行くよりありません。

酪農の分野でも脱粉の在庫、糞尿の取り扱い、酪肉近の行方 WTO・FTA交渉の行方等難しい課題が山積みしております。私たちには、酪農しか生き残る道はなく、個々の英知と組織の力を重ねて踏ん張るしかありません。今までを振り返りますと、少し急ぎ過ぎて今日に至ったわけですが、河川の汚染や環境破壊につながった反省も踏ま

え、これからは“ ゆっくり、しっかりと、一歩ずつ正確な歩み ”で根釧酪農を再構築し、我が産業である酪農を守り、地域の生き残りに貢献していかなければなりません。

結びになりますが、昨年の災いから転じて、素晴らしい福が訪れますようご祈念申し上げます。本年も旧来に増してのご支援、ご指導を賜りますことをお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

平成十七年 元旦





# 新年にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 宮田 勇

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の北海道は災害の多い年でした。特に九月に発生した台風十八号は、本道を直撃し全道の広い範囲を暴風域に巻き込み、記録的な被害をもたらしました。家屋・畜舎の倒壊や損壊をはじめ農作物や園芸ハウス施設などにも多大な被害が発生し、被害総額は三六七億円にのぼりました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて食料・農業・農村・JAを取り巻く環境は、WTO農業交渉が昨年七月にその枠組みの大枠が合意され、交渉期限も本年十二月の香港閣僚会議まで延長されました。この大枠合意により、今後の農業交渉は、具体的な数値を伴う「モダリティ」をめぐる次の段階に入り、階層

方式や関税削減方式をはじめ先送りとなっているセンシティブ

品目の扱いなど、具体的協議事項が山積しており依然として予断を許さない状況です。一方食料・農業・農村基本計画の見直しに向け、担い手対策や経営安定対策、農地対策、農業環境・資源保全対策などの議論が大詰めを迎え、本道農業にとつては大きな転換期に直面しております。北海道の農業者が将来に希望を持つて安心して農業に携わることができる政策の実現に向け万全を期していきたいと思

います。また昨年は一部で食の安全と信頼を揺るがす問題が発生し、消費者の不安感が拡大しました。JAグループは引き続き「共生の大地北海道」をキーワードに、「食と農 信頼の絆を育む北海道農業の展開」「組合員と地域の信頼に心えるJA経営の

展開」に取り組み、消費者に信頼される安全・安心な農畜産物の提供と、地域に信頼されるJA事業の展開を目指していきたくと思

います。いよいよ本年はWTO農業交渉、EPA交渉が本格化し最大の山場を迎えます。北海道農業が日本の食料供給基地としての確固たる地位を築き、食料自給率の向上と消費者への安全・良品質な農畜産物の供給を目指すために、日本農業の存在自体を否定するモダリティ案は断じて認めることができません。日本提案が認められるよう地域住民との連携を強化し運動を盛り上げていきたいと思

います。これまでの社会はひたすら物質的豊かさを追い求め、その結果、経済効率、企業優先の社会となり資源や環境の破壊をもたらしてきました。しかし環境や資源、安全などが重視されるよ

うになり農業、JAに対する見方も随分変わってきました。競争から共生の社会へ時代は変化しています。いまこそ「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念を全員が意識し「共生の世紀づくりに邁進しようではありませんか。JAグループ北海道は組合員、JA、地域住民の期待と信頼にこたえるためこれからも全力で取り組んでまいります。最後に、本年は災害がなく豊穰の出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。





# 環境と調和した息の長い酪農経営に向かつて協同の力を

参事 富田 光夫

皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、この新しい一年が御家族とも健康で穏やかな年となりますようお祈り申し上げます。

昨年が、台風や地震など自然災害に翻弄された一年であっただけに、静かに健やかに日々をおくることの喜びを痛感し、今年こそ安寧であつてほしいと願わずにはおられません。

当地域でも夏こそ天候に恵まれ一番草の収穫を順調に終えることができたのですが、春の雪解けを迎えるまでは度重なる暴風雪で毎日の乳牛の飼料給与や搾乳作業にも支障を来たすほどの苦労を強いられたのでした。

雪害は、施設に直接被害をもたらしただけでなく、授精適期を逃すことなどの乳牛の繁殖サイクルにも影響を与えたとも考えられ、生乳生産の落ち込みのひとつの要因となるなど、自然の巡りが少し変わったただけで

も人の営みに大きく作用することを深く学んだのでした。

このように、天変地異は一夜にして私たちの生活をひっくり返すこととなり、それが予測不可能に近いことから、一旦それに遭遇すると喪失感や絶望に近い気持ちになつてしまいます。

災害への普段からの備えが必要であることは頭の中では理解していても、災害はわが身に降り掛かつては来ないだろうという気持ちは誰にもあつて、他人事としか捉えられない弱さが私たちにはあります。

自然の変化でも緩やかな春夏秋冬の巡りならば、それは心地よい刺激となつて励みとなるのですが、経済や社会の突発的な大きな変化に順応し難い酪農経営では、時代の変化を早い時期から予測して体質を強めて暑さ寒さに備えることしかできない特質を秘めています。

その将来指針となるのが国の「食料・農業・農村基本計画」

であり、本年そのまとめが明らかになります。

主要な施策の柱は環境保全型農業への転換であり、それを農業構造改革の目玉にしていることに注目し、酪農経営の将来を展望するときには、この環境とどう協調して技術を組み合わせる経営を成り立たせていくかを考えていかなければなりません。

農業の自然循環機能を適切に発揮させることを通じ、循環型社会への転換に貢献するため、農業政策についても環境保全を重視した施策体系が採用されることも強調されています。

その手法については、EUでのクロス・コンプライアンス（交差要件）ともいうものであつて、つまり助成を受けるためには実践が求められるという点とであり、農業者が取り組むべき規範を策定し、それを達成したときに始めて各種支援策が施されます。

家畜糞尿の適切な処理など畜産農家が最低守るべき事項をまとめた「環境規範」の実践をすでに土地利用型酪農推進事業では実施要件として家畜排泄物法の遵守を定めており、農水省はこの方策を施策全般に広げていくことを公開していることから、これからの酪農経営への大きな示唆を与えてくれています。

環境保全型酪農の構築は、土地と人と技術が、高邁な理念のもとに地道に地域を挙げて努力していくことでのみ達成可能なことでもあります。

堆肥を地力維持に生かし、草を育て牛の健康を通じて牛乳を生産する。そのあたりまえの循環理念を次代が求める高度な生産サイクルに適合させていくことが喫緊の課題として浮上してきました。

循環の達成なくしては、消費者の国産農産物の継続的な選択、喜んで買って頂くことは出来ない時代にあることを認識し、この地域の酪農が協同の力で環境と資源を守りながら、着実に風土に馴染みゆるぎない主産地となることを切に望み年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 部員同志の結束力を強め、 機動力のある活発な活動を...

JA 計根別青年部 部長 影山 智

新年明けましておめでとうございませう。

組合員の皆様におかれましては、健やかで清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は青年部の諸活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、青年部を代表して心より感謝申し上げます。

盟友の皆様におかれましては、日頃から青年部活動に積極的な参加を頂き、大変心強く感じております。

さて、昨年の事業を振り返ってみますと、組織・仲間づくりを目的とした「基盤づくり」に努めた年となりました。近年、青年部組織も盟友の世代交代を感じる時代を迎え、若い世代の酪農後継者が次々と青年部に入部して頂きました。そこで、自らの組織の連携強化を図るべく各種研修会、講習会、親睦会な

どを実施、開催しました。

青年活動においても、生産コストの低減に向けた共同購入（鉱塩）の推進、系統肥料自主推進の強化、小学生体験学習の受入、乳質改善、地域貢献を目的とした各支部活動など幅広い分野で積極的な活動を展開しました。系統肥料自主推進では、前年を約一〇〇％上回る一、九〇〇トンを集約。乳質では、部員個々のクリア率をモニターし、高品質乳出荷に対する表彰を考えています。小学生受入についても、中標津町内の小学生六名を受け入れ、学校や家族から好評を得るなど年々参加者も増えています。これらの活動の積み重ねが、地域を支える大きな力に変わることを期待し、今後とも継続していかねばならないと考えております。

さらに、青年部本来の活動と考える消費拡大運動では、スプ

リングフェアを始めとする五つ

のイベントへ参加し、ジャンボハンバーグを提供しました。同時に3 A Day（スリー・ア・デイ）運動も推進されるなか、牛乳の無償配布、ロール看板「ごはんと一緒に。牛乳・チーズ・ヨーグルト」を設置し、消費者へのPR活動が酪農とのつながりを強め、美味しく安心で安全な「食」の普及へと、牛乳製品の消費拡大を推進して参りました。

また、部員の自主的な活動を求めて専門部会を設けており、三部会制（広報、パソコン、駅伝）による部員それぞれの個性を活かした取り組みを進めています。結果として、部員個々の資質を高め、青年部組織にもいい刺激を与えているように思えます。

しかしながら、まだまだ多くの課題が残されており、新年度

に向けて各層のニーズに合わせた事業展開、系統肥料自主推進の更なる強化、組織編成の見直し、外郭団体との連携強化、牛乳消費拡大、青年部役員改選など取り組む課題は山積しております。

また、全国・全道的に部員数の減少が進むなか、当青年部も将来的な減少傾向が予想され、部員同志の結束力を強め、機動力のある活発な活動により、成熟した事業を展開していかねばならないと考えております。

昨年は、自然災害の多い年でありました。年頭からの豪雪、台風、猛暑、落雷、地震とその被害も計り知れません。本年は、皆様が自然災害に対する備えや事故、病気等に充分留意され、穏やかで稔りの多い年でありま

すことをご祈念申し上げます。  
家内安全／健康第一／  
本年も皆様が、佳き年であり  
ますように。



## 各支部の連携強化、仲間づくりを求めて

J A 計根別女性部 部長 水 沼 和 子

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、日頃より女性部活動に対し格別なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はJ A 女性「かわろろ、かえよう宣言」の実践取り組みが三カ年計画（H16～18）でスタートしました。これは「いのち」「自立」「共生」「組織」という四つのスローガンを掲げて取り組むものであり、J A 計根別女性部も身近なところから始め、J A 広報「けねべつ」にて支部活動を紹介しました。

まず全体活動ですが、一昨年大変好評だった乳質改善講習会

「搾乳について、みんなで語り合ってみませんか？」をテーマに部員自らが講師として実施致しました。部員から「次回からスライドではなく、ビデオにしては？」という積極的な意見も出されるなど、良質乳出荷にかける女性の意気込みを強く感じました。さらに、「農協とは何ぞや？」をテーマに佐藤部長を講師として招き、農協についての勉強会を行いました。講習会では「私たち女性も一緒に仕事をしている立場として、農協総会がどんなものかを知りたい」という意見が出され、農協総会時には女性部専用席を設けて頂きました。しかし、こちらから要望したにも関わらず、女性部員の出席者が少なく、とても残念に思いました。先日開催致しました「レディースフェスタ」

も昨年度同様に女性部員だけの交流・親睦の場として、ほぼ全

員となる部員が参加しました。会場では食べて、笑って、各支部の演芸発表で盛り上がり、農閑期の一日を楽しく過ごせました。

フレッシュミズでは、昨年も活発な活動が展開され、信夫会長を中心として春の正美公園での親睦会、夏は子供と一緒に夢の森公園でのバーベキュー、そして秋には託児所を設けての「お茶しませんか？」など、部員間の親睦に主眼をおいて積極的に取り組んできました。

青葉会では、昨年初めて独自の活動として、部員自らの講師による「ギョーザづくり」にチャレンジ。その後、みんなで作ったギョーザを食べながらの親睦会を行いました。その他の活動では、人数が集まらず、止む無く中止となった事業もありましたが、ボウリング大会など少ない人数でも十分に楽しむこと

ができたようです。

支部活動では、各支部が乳質改善勉強会、趣味の会、味噌づくりなどに挑戦するなど独自の取り組みが行われました。

このように全体活動、三層活動、支部活動と盛んに活動をしてきましたが、その反面部員の減少には大きな悩みを抱えています。来年は、当女性部も設立五十周年を迎えますが、組織の減少傾向が続くなか部員、各支部の連携強化、仲間づくりが求められます。

最後に、昨年は台風、猛暑、地震と自然災害の多い年でもありましたが、今年は組合員、女性部員の皆様、そして大事な牛にとつて病気や事故災難には縁のない健やかな年でありますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。





# 年頭の挨拶

北根室地区農業改良普及センター 所長 広瀬 勉

新年明けましておめでとうございませう。皆様ご健勝で輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日々の農作業に精を出されておられることに対しまして、心より敬意を申し上げます。

特に計根別地区の乳質向上や環境美化への取組は、その成果が大きく安定しており特筆に値するものと存じます。昨年を振り返って見ますと、冬季の多雪・強風・地震、夏季の高温・台風と自然環境では厳しいものがございましたし、脱脂粉乳の在庫過剰問題も続きました。

さて近年の情勢は、地方分権や道州制が議論され、地方の体制確立が焦点の一つとなっております。農業面ではWTOやFTAに関連しての国内農業の競争力、食の安全・安心、環境に配慮した農業の展開などに向かつて歩みが進められています。北

海道も平成十六年三月に策定した「北海道農業・農村ビジョン21」で、四つの視点(食、環境、人、地域)を強調しております。

特に根室管内では、地域の基幹産業の一つである農業が、より一層の発展と基盤強化を進め、地域経済の中でリーダーとして歩むことが、農業の役割でもあります。

もあり、農業に期待されていると存じます。農業の基盤強化のためには、所得額の増加・安定に加えて、所得率も含めた経営内部・効率に目を向けることが必須と考えます。このための具体的な着眼点例としては、次の事項が挙げられます。

「エサづくり」に向けた、作業適期と牧草収穫作業の精度点検  
「牛づくり、乳づくり」に向けた、飼料給与設計と繁殖の改善

「糞尿活用」に向けた施肥銘柄・施肥量の点検

「コスト低減」に向けた「経営全体を診る目」の経営管理と情報収集

これら一つひとつを点検し個々の農業経営を堅固にすることが、根室地域の発展につながります。この第一歩として、普及センターでは「営農指標計算表」を作りました。これは、実際の経営データをパソコン入力す

れば、その経営全体像を診ることができ、飼養部門や牧草部門などの部門別の原価計算もできます。新しい支店で現状を点検することもときには必要です。「今から、ここから、そして我が家から」の気持ちで原動力となって地域農業がさらなる発展を遂げることを願っております。先人が今の根室農業の基礎を築いたように、将来の農業人に引き継ぐべき農業基盤を創り出すことが、私たちの責務と存じます。

本年が、皆様のご健勝で新たな第一歩を印す年であり、また、どうぞご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



# "つながり"を大切に...

計根別乳牛改良連合会 会長 二瓶 義 則

## 白黒通信

計根別乳牛改良連合会

新年明けましておめでとございます。

組合員の皆様におかれましては、旧年中より計根別乳牛改良連合会の活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様につきましても、日頃より活発なご意見、積極的な事業への参加を頂き、役員一同本当に感謝しております。

さて、昨年の事業であります計根別B&Wシヨウを始めとする各種共進会を実施。出品頭数・件数増、乳牛レベルの高さに裏付けされた成績の向上が際立ち、根室管内はもとより全道的にも注目を集めるなど大変な盛り上がりを見せました。

また、手作りで設置した写真撮影場。父系牛群戦による改良効果の検証と共進会を媒体としながら乳牛改良に対する様々な取り組みを実践する事が出来ました。

乳改連の機構においては、広報部を新設。事業・改良部を合わせた三部制で事業を進めております。

改良部では、『交配の妙』プロジェクトの稼動に向けて努力しておりますが、ソフトウェアの問題など難解な部分が多く、農協職員の知識を借りながら少しずつ進めている段階であります。

広報部では、広報ねべつへの寄稿を中心に、活動状況や様々な情報提供を行い、今後も継続して参ります。

最後に、会員諸氏のご協力、関係団体からのご支援により様々な事業が展開され、さらには、昨年度より設立された上標準同志会の活発な活動と積極的な事業参加を目的の当たりし、横のつながりの大切さを痛感させられた一年となりました。

本年も『つながり』の大切さを再認識し、より充実した事業を展開して参りますので、皆様の変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 歴代の名牛

マリモ ポータル ベルリンガー  
所有者 百崎 健(養老牛)



我が国で23頭目となった20,000kg牛  
"マリモ ポータル ベルリンガー"

### 「ベルリンガーの思い出」

百崎 健、恵美子

平成3年4月25日、ベルリンガーは4度目の分娩をしました。

分娩8日目での初回立会47.6kg、2回目では突如75.6kg、3回目では自己最高の80.2kgと私たちを驚かせました。しかし、感激とともに不安も与えてくれました。

まさに、この頃の我が家はベルリンガーとともに有りました。

乳房炎や食欲不振のときは、心配で眠ることもできず本当に苦しい日々を送りました。

この牛が毎朝元気かどうか常に不安であり、「ベルリンガー」と呼ぶと振り向くようになるほどです。こんなに乳量を出し、その後も分娩してくれたベルリンガー。

私たち夫婦は、この牛のおかげで酪農のロマンと夢を見させてもらいました。これは壮大でとても嬉しい夢でした。そして、多くのことを教えられたのもベルリンガーでした。

今でも本当に感謝しています。



# 2005年は 私たちの年です

組合員さんご家族の年男・年女に登場してもらい、抱負を語っていただきました。

氏 家 日出子さん  
今年も家族の健康を願います



松田 智子さん  
仕事がんばりまーす♥♥

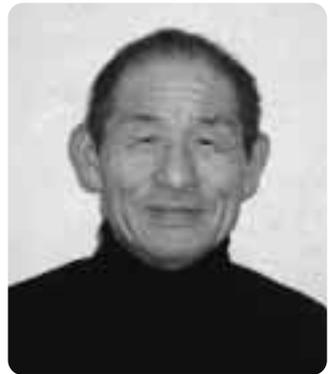


大友 義市さん  
健康で頑張れば…



大友 欣訓さん  
今年も野球がんばるぞー！

渡辺 喜作さん  
家族のみんなが良い年となりますように



漆原 ヤス子さん  
家族に迷惑をかけずに健康で過したい



本田 敏明さん  
今年もがんばるぞー！



本田 琴子さん  
健康で良い年になりますように



葛西 裕之さん  
牛舎も新しくなったので頑張ってるぞー！！



岡部 一男さん  
今年も元気で過させますように





深瀬 マツイさん 深瀬 孝義さん 深瀬 裕子さん  
 家族みんなが健康で 健康で今年も楽しい一年で 無理せず楽しく  
 ありますように ありますように



近藤 清吾さん  
 家内安全／健康が一番！



加藤 玲奈さん  
 勉強がんばりまーす♡



笠井 栄さん  
 健康が一番！



鷺見 春夫さん  
 いつまでも元気で、みなさんと楽しく生きていきたい



尾崎 愛子さん  
 七十二歳まで生きたから、この際もつともつと長生きしたい



小館 二郎さん  
 今年もゲートボールがんばるぞ！



須崎 達範さん  
 今年一年無事に過ごせたら…



坂井 広志さん  
 幸せに、長生きしたい



皆川 洋子さん  
 今年も健康でがんばります！





菊地修一さん  
今年は大物釣るぞーっ!!



影山マサ子さん  
健康で良い年になりますように



影山朝子さん  
家族が健康でありますように



鈴木忠さん  
平穩無事に...



本田慶治さん  
健康第一ノ今年も後ろを振り向かず  
前進あるのみ



味元玲子さん  
家族が元気で楽しい一年にしたい



本田信幸さん  
何といても健康が一番!!



助口茜さん  
勉強と家の手伝いを頑張ります♡



熊坂トキ子さん  
家族みんなで健康に過ごしたい



大沢侑矢さん  
今年も野球をがんばって、全道大会  
に行きたい



中垣博美さん  
何事もプラス志向で乗り切るぞ



安斉キヨ子さん  
みんな元気で過ごせますように



中村勝利さん  
家族全員が一年間健康で過ごせたら



西丸 アヤ子さん  
更年期にも負けないぞ！



西丸 正一さん  
みんなに心配を掛けずに元気で頑張りたい



二瓶 将秋さん  
勉強がんばるぞ！



山本 次江さん  
ガンバッテ働くぞ！



穴戸 喜美さん  
第二の人生、がんばるぞ！



二瓶 キヨ子さん  
みんなが健康で明るく過ごせますように



高橋 和美さん  
一年を健康で！



高橋 洋美さん  
家族が健康で元気に過ごせますように  
(家族旅行に行きたい？)



瀨 敏子さん  
毎日を大切に健康でみんなが過ごせますように



加藤 了子さん  
元気でがんばるぞ！ハッスル／ハッスル！



石毛 菜さん  
勉強がんばるぞー！！



穴戸 悦子さん  
元気で、良質乳を出荷するぞ



穴戸 洋行さん  
もっと大人になりたい

# 欧州農業視察を終えて

根室管内農協参事会



フォスター農場にて

管内農協参事会では、各JAをはじめ関係機関のご協力により、九月一日～十二日の期間にて参加者十五名が集い、欧州方面での海外視察を実施した。

このたび訪問した各国では、厳しい基準のもと種々の取り組みが実施され、生産者においても厳しい基準が遵守され、創意工夫をしながらの経営であった。畜産環境対策、トレーサビリティ制度、食農教育制度、特産加工等の先進的な事例を持つヨーロッパ諸国。その実態把握と根室酪農の振興・発展に資する研修となり、現時点での内容を報告します。

## 【デ・マルケ試験農場】

当農場は、環境保全を図り、コスト低減と利益のアップを基本として、生産現場と行政・関連団体一体となり取り組んでいた。また、一九九二年からワー



グイン大学所管で、畜産分野の調査及び試験研究を行う実験農場であった。

(オランダ酪農の規制と現状)

糞尿施用量規制

窒素投入量一四四kg/ha、燐

三kg

ミネラル管理政策

糞尿、エサ、肥料等からのミネラル投入量が、生産物に含まれる量を超過すると課徴金。

堆肥散布時期

九月一日～二月一日までの期間は散布できない。また、散布方法は土中への注入が原則。

オランダ酪農の定義

肥料等には化学物質は使用しない。農薬も同様。牛に対しても薬剤を使用せず、予防が基本。

基本。

農地が高い。四七〇万円/ha面積に及び頭数制限を法制化現在、成牛換算で四頭/haだが、今後は二・五頭/haを予定。家畜糞尿廃棄契約制度の導入将来的に自家の余剰糞尿は、耕種農家もしくは糞尿処理業者との契約が義務付けられる。



デ・マルケ試験農場の牛舎

## 【ヤン・エヒング農場】

アムステルダム近郊に位置するラーレン地区のこの農場は、オランダでも中規模、一般的な家族経営であった。また、厳しい酪農情勢が続くなか、できる限り経費をかけず、牛を長持ちさせる管理(長命連産)を目指し、環境と調和した持続可能な農業を実践していた。



エヒング氏の牛舎



プロジェクト参加農家を示す看板

(経営に対するポリシー)

所得の確保 五四〇万円/年

持続可能な経営の維持

● 強く健康な牛の育成

● 飼料給餌、疾病への配慮

● 個体乳量アップは望まない  
余計なものを省く経営  
施設、機械等への投資を減じ  
る。

【フォスター農場】

フランクフルト近郊で野菜と家畜で農業を営むフォスター農場。有機栽培デメーター協会に参加するこの農場は、穀物や野菜を有機栽培するために家畜の飼養が義務付けられ、堆肥の確保とあわせて酪農経営が行われていた。



フォスター農場の概要説明を熱心に聞いている団員

土地の価格は、八〇〇〜九五〇万円/haと高価。農薬は、EUの法律や協会の規則により自然のものだけを使用。飼養形態も夏期間は放牧、冬期間のみ飼料給餌。堆肥については、土壌の肥沃化を目的として使われ、不足分の堆肥は購入していた。今後の目標は「規模を大きくするつもりは無いが、農業は政治により変化しやすいので、そのときの状況に応じて農業を継続していきたい」と話していた。

【フランス領ソウギヤール農場】

スイスジュネーブ市内から十五kmのところの位置する酪農家(ベラール氏)を訪問。

(経営概要)

草地面積一〇〇ha

(うち七五ha借地)

小麦・コーン・牧草を作付

飼養頭数 約一一〇頭

(うち搾乳牛は六〇頭)

アポンドンス、シーメンタール、ホルスタインの三種を飼育。

家族構成 ベラール夫婦と息子三人。実務作業は息子三人

が担当

飼養形態 放牧主体

牧草収穫三回/年(五・七・九月)  
糞尿処理 貯留槽  
(フタ義務付)

全てポンプ圧送。全量草地還元

最後に、この地域では生産制限があるなか、限られた施設を大切に利用し、環境保全への配慮に心掛け遅く経営をしていた。



放牧されているアポンドンス種

【チーズ製造販売組合】

ヨーロッパ最高峰の麓、シャモニー”の西へ四〇km。フルメ地区のチーズ製造販売組合を視察。



工場に隣接している直売店前にて

(組合概要)

組合員戸数 九四戸  
 組合受入乳量 五、八〇〇  
 七ノ年  
 組合員平均飼養頭数 十五頭  
 一戸平均乳量 五〇〜六〇t  
 一頭あたり 七、〇〇〇〜  
 八、〇〇〇kg  
 生乳受入単価 六〇・七五円  
 (工場での製造ライン)

ローリーは三台。保冷車と常温車が別々に集乳、搬入。

原料は、組合員からの生乳のみ。朝一番から搬入され、作業開始。  
 生乳は摂氏三四 で温め、動物由来の凝固剤を添加。AOC規格では、温度や凝固剤に制限があり、さらに製品は産地で十二日間の保管義務がある。  
 年間生産量は一四〇万個(六五〇〜七〇〇t)。規格は四五〇〜五五〇g。



工場内のチーズ熟成蔵

塩水によりチーズの塩分濃度を十一〜十一・五に機械が設定。これは世界に一つの機械であった。

(その他)

生乳検査  
 生菌許容量一万以下。月二回の抜き打ち検査。  
 チーズ種類  
 ルブローションチーズの一種  
 疾病牛規制  
 抗生物質未使用。止むを得ず使用の場合は獣医の指示により慎重に対応。

【フランス畜産食肉連盟視察】

(組織概要)

インターベブ(略称)は、「牛、羊、馬」を取り扱う生産から販売に至るまでの業者十二団体で構成。次の目的を趣旨として一九八〇年に設立され、現在ではフランス国内に二十一地区の支部が配置されている。

目的

各業者間のルール作り  
 肉の品質向上推進  
 肉に関する研究推進  
 消費者への情報提供

フランス牛肉の推進  
 (活動内容)  
 牛肉部門

BSE発生以降、国内外ともに減少するフランス産牛肉の信頼回復による消費の拡大が最大のテーマ  
 信頼回復

一般市民に対する信頼回復  
 生産状況の情報発信、一般市民に対して安心される生産環境を認識させる

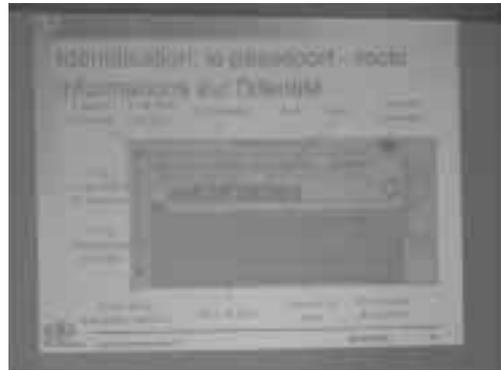
飼育方法  
 個体情報(畜種、品質、出生地、屠殺場所)  
 消費者に対する信頼回復

全ての肉解体行程で品質検査確認証明が烙印され、小分けにされた段階においても同様な証明が添付される。一般小売段階でも公式の品質証明が一目で判断できるようシールが貼られ流通。  
 表示内容は以下のとおり

生産国、飼育国、屠畜国  
 品質基準  
 情報開示手法

肉業界全般にわたるイメージアップが目的であり、市場調査により効果的な情報内

容、手段の優先順位が付けられる。さらに、その情報の利用頻度や理解度が再評価される。



インターネットで使用しているパスポート

(BSE対策)

BSEの発生状況は、二〇〇一年をピークに年々減少。また、ヨーロッパではBSEの発症は四〇ヶ月齢以上の牛であり検査義務を三〇ヶ月齢以上に変更。

フランスでの防疫対策

- 一般公衆衛生から見た対策
- 家畜防疫（個体・群単位）、飼料のもつ抗病性研究
- 病気に対する追跡機能強化

(環境問題、規制)

水質汚染では、規制が各国の基準で設けられ、フランスでは

飼養頭数制限一九七六年以降が行われ、四〇～五九頭で申請義務があり、六〇頭以上で許可を要する。許可要件としては、所有面積、施肥面積のほか水域・都市部との距離等が要件とされる。

水質被害のリスクが高い地域は優先地域として指定され、窒素施肥対策として堆肥舎の屋根掛け、密閉施設等に対して事業費の二〇～三〇%が補助される。しかし、頭数制限、収容設備、土地改良内容が仕様書に基づく施肥計画が強いられる。



ポモン氏の説明を受ける

【ランブイエ国立農場】

(概況)

一七四三年ルイ十六世により羊毛の品質向上実践牧場として設立。現在は、フランス農水省教育研修部所属の農場として、全国の教育ファーム指導者の育成、モデル教育ファームとして活動しており、畜産試験場、畜産学校も併設されている。



農場の概要を説明するドリュエ氏

敷地面積三五〇ha

(うち農地三〇〇ha)

従業員一一二〇名

(農場担当二〇〇名、教員他一〇〇名)

飼養家畜 乳牛 二〇〇頭

羊 五〇〇頭

鶏 四、〇〇〇羽

ウサギ 五〇羽

教育学習プログラム

見学、半日、一日コースと各コースには職業紹介や搾乳、バター作りの体験学習、動物を通じた教育等が盛り込まれていた。

農場には、畜産家、技術者、各種イベント来場者、体験学習親子連れなど年間七万人の訪問客。

主な業務内容

- 農場経営
- 環境教育
- クリーン農業の実践、指導
- 人工授精教育
- 教育農場の調査
- 指導員の指導方法企画
- 各種規制、ルールの指導



農場で飼養されている純粋メノリ種

# 美味しい手料理と演芸発表で 楽しい一日を...



## JA 計根別女性部 レディース フェスタ

JA 計根別女性部では、女性部独自のお祭と交流の場を設け、「農閑期の一日を楽しく過ごそう！」と本年度の最大イベントである「レディースフェスタ」を二月八日に中標津町交流センターで盛大に開いた。今年のレディースフェスタは、女性部員約九十名が参加。昨年同様に各支部が手づくりの料理を持ち寄り、バイキング形式での昼食となりました。並べられた料理は、どれも美味しくほとんどが完食。バイキング形式により好きな食べ物を自由に試食できることもあって参加者からは大好評。

(手づくりメニュー)

- 計根別 豚汁 上標津 バラエティーゼリー
- 西竹 おでん 東西竹 フランスパン
- 養老牛 パフォーマケーキ
- 大成 チャンチャン焼き、ヨーグルトケーキ
- 本別 サラダ、マリネ

さらに、三役で用意された「おにぎり」もJA長沼から提供されたお米「ななつぼし」を使用。従来の道産米に比べ光沢や粘りなど食味も優れており参加者からも好評でした。(JA長沼とは昨年より女性部交流事業を試みており、「ななつぼし」のPRも兼ねて無償で提供して頂きました。美味しいお米を提供して頂き、本当にありがとうございます。)

また、昼食後は待ちに待った演芸発表。各支部それぞれが趣向を凝らしてステージに登場。会場からは拍手と笑いの連続となり、毎年この演芸発表を楽しみにしている部員がほとんどです。

最後に、お忙しいなか出席して頂きました継続組合長、富田参事、佐々木部長、西川普及員本場にありがとうございました。そして、レディースフェスタを盛り上げて頂きました女性部員の皆様お疲れさまでした。



古着を持ち寄りチャリティーバザーも



部員自らが作り上げた見事な作品の数々が展示されました





計根別支部 "リコーダー演奏,,



チョット欲張りな部員も...



子どもたちも美味しい料理に大満足



大成支部 "大きなかぶら,,



開会式での挨拶は  
水沼部長と繻織組合長



上標津支部  
チョット変わった "桃太郎,,



フレッシュミズと組合長。  
どんな会話をしたのかな？



参事も女性部員に囲まれ、  
楽しく会話が弾みました



養老牛支部  
"アルゴリズム体操,,



昼食時は、どの料理にも人でいっぱい



会場に持ち寄られた "手づくり料理,,  
美味しそーっ!!



大成支部  
"みんなでどっこいしょ,,



東西竹支部 "カメハメハ,,



養老牛支部フレッシュミズ  
"ハンドベル,,



本別支部 "ハンドベル,,



西竹支部 "マツケンサンバ,,

## 個性溢れる作品に

### 部員も大満足

#### トールペイント講習会

十一月十六日、ふぁーまっく二階を会場として、トールペイント講習会を開いた。

当日は、トールペイントに興味を持つ女性部員二十五名が参加。講師に上標津支部の西塚陽子さんを招き、初心者でも一日で作り上げられるものを準備して頂きました。



完成した作品を手に参加者全員で記念撮影

#### 部長も積極的に取り組んだトールペイント



熱心に指導するのは講師の西塚さん

また、絵心があっても無くても、同じ図案を使って部員それぞれが個性溢れる作品を作り上げ、とても楽しい講習会となりました。

その後、西塚さんが作った見事な作品の数々を拝見させて頂き、「次は少しレベルアップした作品にも挑戦したい」という部員もいるほどでした。

最後に、お忙しいなか講師を務めて頂いた西塚さん本当にありがとうございました。

## 今年も

### リース作りにも挑戦

#### お花講習会

十二月二日、今年も「花いちもんめ」の皆さんを講師として「お花講習会」をふぁーまっく二階で開きました。

今回は、二種類のリースが用意され、チョット珍しい和風のものも目見えしました。当日の講習会では、部員それぞれが好きなリース一点を選び、リースづくりに挑戦する予定でした。しかし、参加者のなかには二点とも選んで製作する人もいるほどの人気でした。作り上げたりースの出来栄も良く、みんなは大満足。とても楽しい講習会に参加者から大好評となりました。



「花いちもんめ」の皆様と楽しいリース作り



リースの出来栄に大満足の参加者。全員で記念撮影



この二人は何を見ているのでしょうか？

# 洗車場オープン

十二月十一日、旧スタンドが洗車場としてリニューアルされました。洗車ノズルのホースも上から伸びて使い易く、車内の掃除ができる清掃機も設置され、利用しやすい施設が完成しました。

工事中は、皆様にご不便とご迷惑をお掛け致しましたが、地域に愛され親しまれる給油所を目指して参りますので、今後と



車内清掃機も完備されました

も皆様のご利用を宜しくお願い致します。



旧スタンドが洗車場として生まれ変わりました

## J A 計根別 ステップアップ講座

J A 計根別では、若手酪農後継者、職員の資質向上を目的とした「ステップアップ講座」を営農課の窓口により、十二月十六〜十七日の二日間にて開催した。

このたびの講座は中級編。ホクレン尾形氏を講師として招き、乳牛の基礎知識、飼養管理技術についての講義となった。

初日は、雪が降り積もる悪天候のなか酪農後継者、研修生、職員の約三十名が参加。乳牛の



## ホクレン尾形氏を講師に 乳牛の飼養管理技術を学ぶ

構造や育成の飼養管理についての講義となった。二日目は、泌乳、乾乳期の飼養管理。農協会議室にて講義をつけた後、二瓶牧場（計根別）にてバーンミールティンク。実際に生産現場で乳牛を観ながら、観察の重要性、牛舎施設、飼料給与のポイントなどを学びました。



参加者に飼料給与のポイントを説明する尾形氏



講師：ホクレン尾形氏

# 全道JA青年部大会



カズヒロ氏と広瀬氏が“青年の歌”を...



何故に“マツケンサンバ”で青年の歌？



## 全道の盟友が集い、さまざまな活動を学んだ全道青年部大会



最後は、会場のみんで青年の歌を熱唱



研修会場で楽しそうな二人



活動実績発表の一コマ

十二月二、三日、札幌パークホテルにて全道JA青年部大会が開かれ、当青年部から七名の部員が参加しました。

青年部大会は、青年の主張、活動実績発表、分散会、記念講演、全体懇親会などが行われました。

大会初日は、青年の主張と実績発表から始まり、全道の代表者を決めることもあり緊迫した雰囲気の中に進められました。分散会は、畑作や酪農など地域を越えての情報交換がなされ、参加した盟友それぞれの考え方を学びました。

その後、全体懇親会へと会場を移し、初の試みとなったカラオケ大会が催さ

れ、新JA青年の歌”を地区対抗により競い、個人的な部員が登場するたびに会場から歓声が沸きました。最後は、本人と広瀬哲朗氏、全道役員がステージを独占し、会場内の盟友全員で青年の歌を熱唱しました。

二日目は、元プロ野球選手の前野球選手の広瀬哲朗氏(日本ハム)による記念講演が行われ、当時の苦労話、現在の活動、夢を聞きました。そのなかで、「向上心を持つこと、気持ちの持ち方、日頃の積み上げ(努力)が大切」と説得力のある話しに盟友も共感。とても興味深い内容と楽しいトークに盟友も釘付けとなるほどの講演になりました。



根室管内のカラオケ代表者と記念撮影は中村くん



研修会に参加した部員7名



豪快な笑顔の田中くん。今日はとても上機嫌でした

# 部員35名が集い、 親睦を深めた ボウリング大会



おかしなポーズでボールの行方を  
気にする小林くん



本日のTOP3!!  
管内ボウリング大会もガンバッテ!!

【大会結果】

一位	二瓶義則くん	361P
二位	北村 篤くん	319P
三位	株田悠介くん	312P
四位	鈴木直義くん	305P
五位	苅田憲幸くん	297P

青年部では、部員間の親睦を深めることと十一日に開催される管内JA青年部スボーツ交流会への参加者を決める選考会を兼ねて、十二月六日ウコウボウルにて親睦ボウリング大会を開いた。

当日は、師走の忙しい時期にも関わらず部員三十五名が参加。ゲーム中は、各レーンでボウリングと会話を楽しみ、ときより見せる「ストライク」にとても満足そうな表情が印象的でした。

最後に上標津支部の担当で進められた「ボウリング大会」。部員からは「支部や年齢を気にせず、みんなでボウリングを楽しむことが出来た」ととても好評でした。

## 新年度の取り組みを誓って

### 青年部望年会



十二月十日、青年部では一年の締め括りとして、毎年恒例となる「望年会」を中標津の河亭にて盛大に開いた。

今年の望年会は、師走の忙しい時期でもあり、支部単位では行事が重なり出席できないところもありましたが、部員三十五名の参加により楽しい時間を過ごした。

また、当日は十二月に入ってから忘年会疲れが残っている部員も多く見受けられるなか、例外では呑み過ぎ「大虎」になる部員もしばしば…。

しかし、何ととっても若くて元気な青年部員。望年会では、一年の反省と新年度への取り組みを全員で誓うなど、とても有意義なものとなりました。

# シリーズ第10弾 逸品館

## “HONDA CB750F”

今月の逸品館は、久しぶりに登場の「バイク」です。先日、ある組合員さんのお宅にお邪魔したときに旧牛舎の片隅で大切に保管された二台の「CB750」を発見しました。そこには、昭和五十年代と六十年前後と思われる二台のバイクが並んでおり、今回は六十年代の「CB750F」を紹介します。本人に話しを聞くと当時の思い出がたくさん詰まっており、手放すことができないほどの愛車です。このバイクに乗ったのも昭和六十三年頃がピーク！夜になると近所の仲間が集まり野上峠や摩周湖方面などヘドライブ（走り？流し？）を楽しみに爆走したようです。（爆走していた頃のメンバーはスゴイ人ばかり！名前を聞いたときは驚きでした）

現在も根強い人気が続く「旧車ブーム」。これを支える名車「CB750F」。今年の夏には是非復活させて頂きたいと願うばかりです。



購入時期 昭和62～63年？  
 価格 20～30万円  
 その他 このバイクには車検証が無い！何故かと言うと中古でバイク屋から買いましたが、売るときは「買い戻させてくれ！」とバイク屋に言われているらしい。



# THE FRIEND CONNECTION

小林 雄一（計根別支部）  
 S42.11.19 37才

- Q1. あなたの趣味は？
- A1. パチスロ
- Q2. 就農したキッカケは？
- A2. 小林家に嫁いだから
- Q3. 今、あなたがハマっているものは？
- A3. コマイ釣り！でも本当はお酒？
- Q4. 好きな女性のタイプは？有名人に例えると
- A4. チェ・ジウ
- Q5. 将来の目標は？
- A5. 牛乳をたくさん搾って、新しい牛舎を建てたい
- Q6. 友達を紹介してください。
- A6. 上標津支部の後藤 順くんです。
- Q7. なぜ後藤くんを選んだのですか？
- A7. それは数少ない婿さんつながりだから



## スポーツを通じた仲間づくり 根室管内JA青年部スポーツ交流会



十二月十一日、毎年恒例となった根室管内JA青年部スポーツ交流会が、地区青年部連絡協議会の主催によりウコウボウルにて盛大に開かれた。

スポーツ交流会は、ボウリングを楽しむことより、各JA青年部間の親睦を深めることを第一の目的として開催され、毎年好評を得ている活動の一つです。

当日は、管内JA青年部部員十九チーム五十七名が集い、当青年部からもチーム三名が参加。惜しくも上位入賞は逃したものの、しばらくぶりに逢った友人・知人との対話、初対面の盟友とお互いの名前や情報交換により有意義な時間を過ごしました。

## 審査員から高い評価を得た プロジェクト発表



### 平成16年度 校内実績発表大会 中標津農業高等学校

中標津農業高等学校では、日頃のプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の資質向上と専門的な能力や態度を高めることを目的として、十二月七日に関係機関を含む八名の審査員のもと、「校内実績発表大会」を開いた。

今年の発表は九プロジェクト。農産・乳・肉加工、酪農、園芸、機械など、それぞれの分野から一年間の活動成果が発表された。

なかでも、審査員に高く評価されたのは、チーズ製造時に生産される副産物「ホエー」を使ったジュースづくり。地元地域に花を咲かせようという取り組み。地産地消を目指して肉製品の加工へ取り組む活動の三プロジェクト。しかし、他の六プロジェクトについても内容のある取り組みに審査員も驚くばかりでした。

結果は、プロジェクト内容でほぼ互角、発表態度での審査得点が順位を左右しました。

#### 【審査結果】

最優秀賞 肉加工分会

“地産地消！根釧元気宣言！”

優秀賞 園芸分会

“僕ら中農園芸分会”

優秀賞 乳加工分会

“ホエーdeジュース”

Healing Paradise Miyako Islands

宮古島



釧路空港発着

お申込は出発の14日前まで  
承ります

募集締切

平成17年2月23日(水)

至福アイランド!見るものすべてがご馳走になる!!

N TOUR 杯 出発日 平成17年3月9日(水)



PARK GOLF 大会

《スケジュール》

旅行代金：(4名1室利用)

大人 140,000円

申込金：30,000円

募集人員：40名(最少催行人員15名)

利用ホテル

奥間/JALプライベートリゾートオクマ

宮古島/宮古島東急リゾート

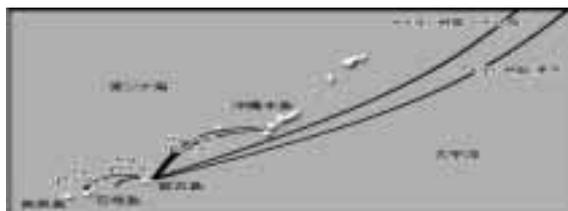
食事：朝食3回・昼食4回・夕食3回

利用航空会社：JAL(日本航空)

添乗員：同行します

	行 程 / 宿 泊 地	食 事
1	釧路空港 -> 羽田空港 -> 那覇空港 = 那覇 = JALプライベートリゾートオクマ 10:15 11:55 / 13:00 15:00 18:00	× お弁当 夕
2	ホテル = 国頭村鏡地パークゴルフ場(フリープレー) = レストランウォーターリ- 08:30 08:45 / 11:00 = 那覇空港 -> 宮古空港 = 宮古島東急リゾート(前夜祭) 14:00 / 15:00 15:55 16:20	朝 昼 夕
3	ホテル... 宮古島東急リゾートパークゴルフ場(練習ラウンド)... 08:30 08:45 / 11:30 宮古島東急リゾート(食事)... 宮古島東急リゾートパークゴルフ場(大会)... 11:40 / 12:30 13:00 / 15:00 宮古島東急リゾート(表彰式) 15:15	朝 昼 夕
4	ホテル = 宮古島島内観光又はパークゴルフフリープレー = 宮古空港 08:30 12:30 / 13:15 -> 羽田空港 -> 釧路空港 15:45 / 17:40 19:15	朝 お弁当 ×

この行程表は予定であり、天候・交通事情またはその他の理由により変更になることもございますので予めご了承ください。



任意の旅行傷害保険加入をおすすめいたします。詳細は係員へお申出ください。

旅行主催

(株)農協観光釧路支店 国土交通大臣登録旅行業第939号  
北海道釧路市黒金町12丁目10番地 農業会館1階  
TEL 0154-24-1175 FAX 0154-22-3240  
(社)日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員  
一般旅行業務取扱主任者 佐藤 丈治  
受付時間：月～金 9:00～17:30(祭日・年末年始を除く)

お問合せ・お申し込みは  
JA計根別 総務企画部 総務課 TEL(01537)8-2111

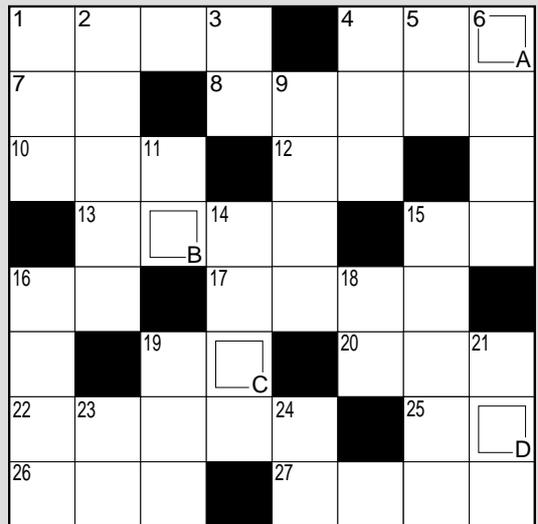
↑タテのキー

- 1 ツクシが育つとコレになります
- 2 チルチルとミチルが青い鳥を探しに出かけたのは、コレの前日、つまりイヴでした
- 3 野球の試合で、ノーアウト
- 4 総理大臣が主宰する会議
- 5 大事が起こった場合のこと。鎌倉！
- 6 非服従・非暴力主義で、インドの民衆を導いた思想家
- 9 1917年、ロシアで革命が起こり、連邦ができました
- 11 1991年の大ヒット『愛は勝つ』を歌った人
- 14 「ゴッドハンド」「牛殺し」と呼ばれた極真空手の創始者・大山
- 15 1966年に発表された、ビートルズの最高傑作と言われるアルバムのタイトル。日本語だと「回転式連発拳銃」
- 16 疲れた目に...
- 18 「ドラゴンクエスト」シリーズの？に登場する伝説の勇者
- 19 金管楽器を中心とする吹奏楽団は、バンド
- 21 『ルーツ』の著者、アレックス・ヘイリーは調査の結果、自らのルーツはアフリカから奴隷として連れてこられた・キンテであることを知りました
- 23 温泉を利用した治療施設。ハウス
- 24 どうやったら外せるのかな...の輪

➡ヨコのキー

- 1 ラグビーでフォワードの選手が組みます
- 4 画家が描きます
- 7 妻のお母さんはの母
- 8 足し算、引き算、かけ算、わり算
- 10 宇宙人の滑走路？地上絵で有名なペルーの平原
- 12 ファッション・デザイナー菊池武夫氏が71年に設立したブランド
- 13 ほら、目の前ですよ
- 15 小学生の頃、笛のケースをヌンチャクにして、ブルース・のマネをしたもんです・・・
- 16 ブラック・ジャックはマントの内側にしまっていました
- 17 記者会見でまぶしく光ります
- 19 ジョージ・オーウェルの『動物農場』では、この動物が中心となって農場に革命を起こします
- 20 自動車を動かすために必要な力
- 22 コンビニやマクドナルドでよくもらう、銀のところをコインでこする・カード
- 25 つきっきりの担当記者のことを記者といいます
- 26 日本では三陸海岸が有名
- 27 マドンナがアルゼンチンの大統領夫人を演じた映画です

クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、企画課までFAX（8-2556）お願いします。

《締め切り》平成17年1月20日まで  
当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上

JAのすがた

組合員 3月31日現在  
 正組合員数 209人  
 正組合員戸数 200戸  
 酪農家戸数 177戸  
 准組合員数 212人  
 （うち団体5）

乳牛頭数 7月調べ  
 経産牛 11,652頭  
 未経産牛 7,714頭  
 合計 19,366頭



あとかき

新年明けましておめでとございます。組合員の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新年を迎えられたことと思います。  
 昨年を振り返ってみますと年明け早々の暴風雪、夏場での猛暑・落雷、幾度となく襲いかかった大型台風、大型地震など自然災害が皆様を脅かす一年でありました。  
 また、今年の冬も先月から降り続く大雪に、皆様も不安を隠せないのではないのでしょうか？さて、昨年農協での一年は？というところからAコープリニューアル、生乳生産目標九万七、乳質向上対策、消費拡大運動（3 A Day）、中国人研修生受入、給油所建設、史上初の全道共進会一位、糞尿処理法施行など様々な事がありました。  
 二〇〇五年の新年を迎えるにあたり、新たな取り組みや継続される事業など、組合員皆様から期待される一年を目指して頑張りますので、本年も変わらぬご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

きりとり線

クロスワードパズル

住所 \_\_\_\_\_  
 氏名 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_  
 答え  
 A  B  C  D

きりとり線



## “餅つき”

お正月といえば“餅”。計根別生涯学習センターでは、  
連合町内会・老人クラブ・児童館の協力により12月11  
日に“親子餅つき大会”を開いた。

この行事も毎年恒例となり「手づくりの美味しいお  
餅を皆で食べましょう」と子供から大人までの約150名  
が元気に餅つき大会を楽しみました。

